

第17回全国健康福祉祭群馬大会(ねんりんピックぐんま)

富岡市で < 太極拳交流大会 >

群馬県A、Bチームが優勝・準優勝を独占、兵庫県は3位に

「第17回全国健康福祉祭群馬大会」(ねんりんピック群馬)が10月16日～19日の4日間、群馬県で開催された。

総合開会式は10月16日(土)、前橋市の「県営敷島陸上競技場」で挙行された。太極拳はじめ各競技の選手・監督・役員が総合開会式に参加し、都道府県・政令指定都市ごとに入場行進を行なった。

55 都道府県・政令指定都市チーム出場 / 全国の愛好者代表 364 人が太極拳交流

太極拳は今年も「ねんりんピック」「ふれあいスポーツ交流大会」の正式種目として行なわれた。太極拳交流大会は総合開会式の翌17日(日)、群馬県連盟(鈴木勲会長)の主管により富岡市民体育館で開催された。

開始式で、主管団体を代表して群馬県連盟の鈴木勲会長が開会を宣言、今井清二郎富岡市長から大会会長挨拶が述べられた。富岡市市議会の齋藤昌平議長が歓迎のことばを述べ、次期開催地の福岡県飯塚市の江頭貞元市長が挨拶した。友正慧総審判長が競技上の諸注意を述べ、選手を代表して群馬県Aチームの鈴木伊三郎、齋藤かつ子両選手が力強く選手宣誓を行い、引き続き競技に入った。

大会には、各都道府県・政令指定都市から推薦を受けて、43 都道府県チーム・12 政令指定都市チーム、合計 55 チーム・364 人が出場した(地元の群馬県はA、B 2 チーム)。

大会成功に向けた地元の取り組み / 群馬県連盟総勢 200 人の集団演武

今大会出場者のうち70歳以上89人、65歳～69歳128人、60歳～64歳147人となっている。80歳以上の参加者は4人。参加者合計364のうち、男59人、女305人。

1チーム6～7人で編成された都道府県および政令指定都市の代表が群馬県富岡市に集い、それぞれおもいおもいの音楽に合わせて持ち時間4分の自選の24式太極拳集団演武を披露し、交流を深めた。

富岡市は県の西南部に位置し、明治維新政府が殖産興業のさきがけとして設立した旧官営富岡製糸場でよく知られている。富岡市は今年市制施行50周年を迎え、この記念すべき年に太極拳交流大会を開催することになった。

今大会の成功獲得に向けて、富岡市と群馬県連盟はなみなみならぬ取り組みを行った。当日の早朝、体育館前で地元太極拳はじめ市民1200人が全国各地から大会に参加する各チームを出迎えた。会場の観衆も3800人以上を数え、参加チームの演武に分け隔てなく、惜しめない拍手が寄せられた。競技の終了後も、1000人以上の市民が各参加チーム・選手を見送った。夕闇のなか、会場からの長い沿道を両手にキャンドルをかざした見送りの行列が続き、幻

想的な光景のなかで、大会の行事が締めくくられた。

大会開始式で活躍したプラカード隊を担当したのは、富岡中学校の1年生の生徒たち。生徒たちは、大会前に自分の担当するチーム全員に自筆の手紙を郵送して、歓迎のメッセージを送っていた。開始式の音楽は富岡市消防団音楽隊が担当、アトラクションとして上州鐺太鼓、獅子舞、八木節、およびすみれ保育園時による和太鼓等が披露された。会場周辺には「ふれあい接待所」「健康づくりコーナー」「太極拳体験コーナー」等も設けられ、参加者、来場者をあたたかく迎えてくれた。

群馬県連盟は、この日のために練習を重ねてきたジュニア太極拳、ジュニア長拳、24式太極拳の演武を大会休憩時間に披露した。ジュニア長拳とジュニア太極拳にはそれぞれ25人が参加した。表彰式を前に、体育館フロア いっぱいに展開して行われた県連盟会員総勢200人による息のあった、整然とした24式太極拳集団演武に会場全体から大きな拍手が寄せられた。特別演武として、第7回世界武術選手権大会(2003年11月/中国マカオ)メダリストの赤沢依美選手(太極剣・銀、太極拳・銅)、および武田幸子選手(南刀・銅)による特別演武の披露も行われた。

表彰式で高齢出場者の特別表彰 / 最高齢チーム賞は宮崎県チーム

競技表彰に先だち、最高齢者賞・高齢者賞、最高齢チーム賞の表彰が行なわれた。最高齢者賞(男女1人)として川嶋清(岐阜県・81歳)、石丸チエ子(香川県・84歳)の両選手、高齢者賞として男性は江畑精一(滋賀県・80歳)、藤本正太郎(滋賀県・80歳)、山口聰(宮崎県・79歳)、女性では小柳敦子(福岡県・78歳)、山口ノリ(宮崎県・77歳)、山崎京子(広島県・77歳)の各選手が表彰を受け、賞状と楯が大会会長の今井清二郎富岡市市長から授与された。最高齢チーム賞(平均年齢の最も高いチーム)は宮崎県チーム(平均73.14歳)で、チームの一人ひとりに記念品が授与された。

優勝した群馬県チーム、準優勝の群馬県Bチーム、3位の兵庫県チームに、今井清二郎市長から表彰状とトロフィーが授与特別された。上位3チームには、全選手に賞状とメダルが授与された。

地元チームが優勝・準優勝を果たしたのは今回が初めて。大会準備、運営のみならず、競技面でもなみなみならぬ努力を重ねてきたことが見事な成績として結実した。群馬県Bチームが35番目で登場して9.05の得点を記録して、この時点で首位に。最後から5番目登場の同AチームがBチームを上回る得点を記録し、開催地念願の優勝となった。

一昨年、昨年と連覇の横浜市は今年入賞を逃し、横浜市と例年優勝を競ってきた兵庫県が3位となった。4位～10位の入賞チームには優秀賞として賞状と優秀賞メダル、参加全員に参加賞が贈られた。

来年の「ねんりんピック」は福岡県 / 飯塚市で11月に太極拳交流大会

来年の「ねんりんピックふくおか2005」太極拳交流大会は11月13日(日)に飯塚市体育館で行われる。閉会式で、福岡県連盟の今井多九郎会長が次期大会の主管団体を代表して挨拶を述べた。最後に、堀米秀夫群馬県連盟理事長による閉会宣言により大会の幕がおろされた。

「ねんりんピックふくおか2005」に向けて、ねんりんピック飯塚市実行委

員会(会長 = 江頭貞元市長)もすでに6月に発足し、この11月28日には会場となる飯塚市体育館で太極拳交流リハーサル大会の開催を予定している。

今後の「ねんりんピック」開催予定地は次の通り。

2005年(平成17年度)	第18回福岡県	2009年(平成21年度)	第22回北海道・札幌市
2006年(平成18年度)	第19回静岡県・静岡市	2010年(平成22年度)	第23回石川県
2007年(平成19年度)	第20回茨城県	2011年(平成23年度)	第24回熊本県
2008年(平成20年度)	第21回鹿児島県	2012年(平成24年度)	第25回宮城県

(日本連盟機関誌「武術太極拳」2004年11月号・180より)
大会成績一覧は「[国際競技大会](#)、[全国大会成績](#)」を参照。

